

令和7年度宇都宮大学大学院教育学研究科専門職学位課程

第1期入学試験

教育実践高度化専攻

受験科目 小論文

次の3つの設問から、2つを選択し論述しなさい。なお、解答用紙には、選択した問題が分かるように、問題番号を記しなさい。

【問題 1：学校改革力の領域】

令和5(2023)年10月、文部科学省は令和4(2022)年度の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果を公表しました。この結果から、小・中学校段階における不登校児童生徒数が前年度比で22.1%増加し、29万9048人となったことが明らかとなり、社会的にも大きな話題となりました。あなたは、この結果をどのように受け止めましたか。その上で、学校はどのように対応していくべきだと考えますか。具体的に述べなさい。

【問題 2：授業力の領域】

平成29(2017)年告示の小学校及び中学校学習指導要領の総則には、「生命の有限性や自然の大切さ、主体的に挑戦してみることや多様な他者と協働することの重要性などを実感しながら理解することができるよう、各教科等の特質に応じた体験活動を重視」することが述べられています。体験活動の充実を図るには、どのような学習活動が考えられますか。校種、教科等を想定し、具体的な例を挙げながら述べなさい。

【問題 3：個への対応力の領域】

特別な支援が必要な児童が小学校から中学校へ安心して進学できるようにするためには、どのような配慮や準備が必要だと考えられますか。あなたが小学校や中学校で取り組むべきと考えることについて、具体的に特別な支援の内容を含めた児童の状態を想定して述べなさい。

令和7年度宇都宮大学大学院教育学研究科専門職学位課程

第2期入学試験

教育実践高度化専攻

受験科目 小論文

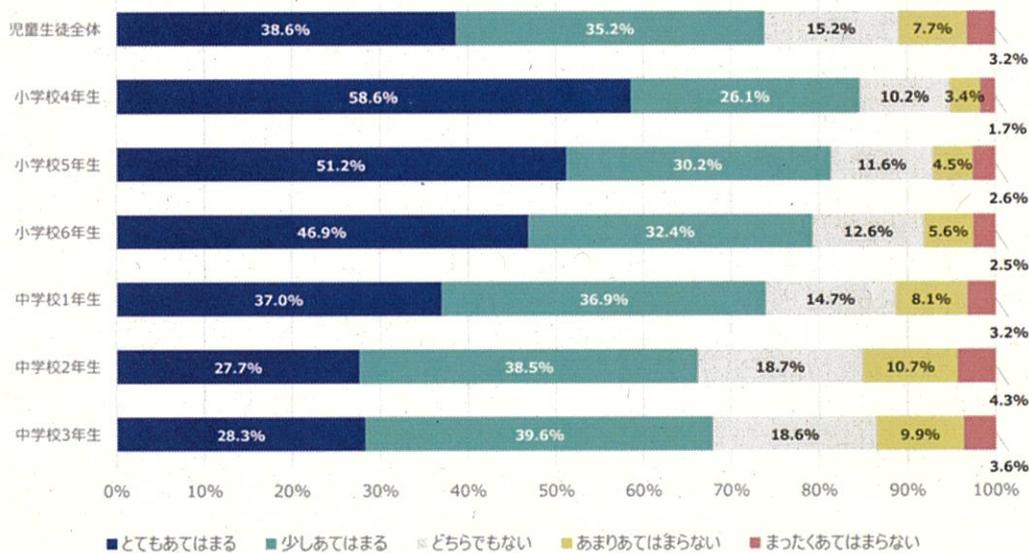
次の3つの設問から、2つを選択し論述しなさい。なお、解答用紙には、選択した問題が分かるように、問題番号を記しなさい。

【問題 1：学校改革力の領域】

以下のグラフは、文部科学省が令和4年度に実施した「義務教育に関する意識に係る調査」(令和6年3月に公表)の一部、全国の公立小学校60校、中学校58校に在籍する児童生徒を対象とする「教育関係者調査(児童生徒向け調査)」からの抜粋です。グラフの示す結果について(1)自分なりに読み取った要点を説明した上で、(2)学校として教育活動を実施する上でどのようなことを留意すべきかについて述べなさい。

(1) あなたが普段学校で受けている授業に関して思うことについて、それぞれあてはまるものを1つ選んでください。

(授業で学ぶことが、将来役に立つと思う)



【問題 2：授業力の領域】

小中一貫教育は近年その重要性が増しています。小中一貫教育を行うことで、学習指導の観点からは、①9年間を見通すことによる学びの連続性、②小中の教員が連携することによるより深い児童生徒理解、③一人一人の個性に応じたきめ細やかな指導などが期待されます。それらを意識すると、どのような学習指導が考えられますか。①～③から一つを選び、校種、教科等を想定し、具体的な例を挙げながら述べなさい。

【問題 3：個への対応力の領域】

令和3年1月の中央教育審議会答申では、個別最適な学びに関して、「探究において課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う等、教師が子供一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、子供自身が学習が最適となるよう調整する『学習の個性化』も必要である」と指摘されています。

あなたが担当する授業について、(1)校種や教科、学年等を想定し、「学習の個性化」を実現するための具体的な方策を述べなさい。また、(2)その実現に際して予想される課題と課題解決のための展望についても述べなさい。